

令和7年度 アオコ情報（北浦）

8月23日に実施した調査の結果についてお知らせします。

- フィコシアニン濃度^{※1}は、巴川沖がアオコレベルで3相当、武井沖がアオコレベルで1相当でした。

北浦のアオコレベル

- ・ 巴川沖でアオコレベル3相当（フィコシアニン濃度：1340 µg/L）、武井沖でアオコレベル1相当（フィコシアニン濃度：80 µg/L）でした。
- ・ そのほかの地点では、アオコレベル0相当（フィコシアニン濃度：6～12 µg/L）でした。

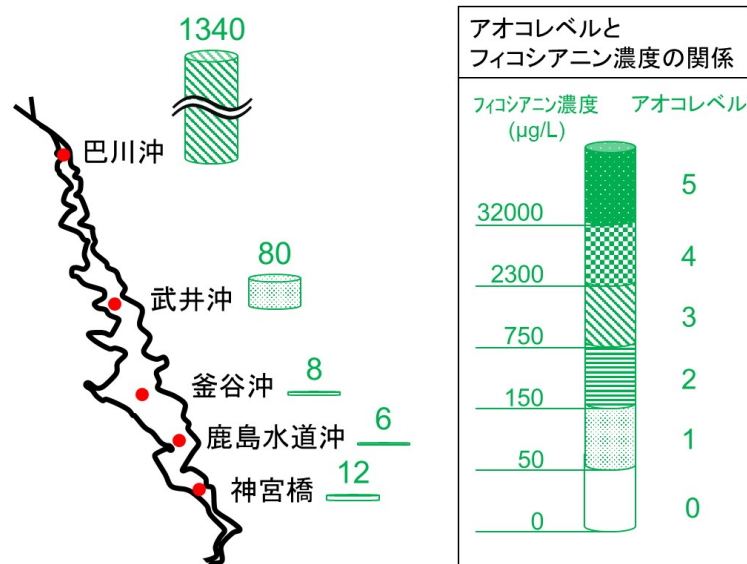


図1 フィコシアニン濃度の分布

※1 フィコシアニン

アオコの原因となる植物プランクトン（藍藻類）に含まれている色素です。フィコシアニン濃度はアオコの現存量と一定の相関があるため、アオコ現存量の目安になると考えられています。

※2 アオコレベル

アオコの発生状況を視覚的に把握するための指標です（参考：国土交通省霞ヶ浦河川事務所 HP: <http://www.ktr.mlit.go.jp/kasumi/kasumi00313.html>）。フィコシアニン濃度は、アオコレベル1で50 µg/L程度、アオコレベル2で150 µg/L程度、アオコレベル3で750 µg/L程度、アオコレベル4で2300 µg/L程度、アオコレベル5で32000 µg/L程度です（小日向ら, 2012）。各レベルの写真は、別紙に掲載しています。

● 調査結果の詳細

表 調査結果

	北浦				
	巴川沖	武井沖	釜谷沖	鹿島水道沖	神宮橋
採水時刻	8月23日	8月23日	8月23日	8月23日	8月23日
	8:35	9:00	9:15	9:32	9:45
水温(°C)	32.3	32.4	32.5	32.0	33.0
pH	8.8	9.0	8.9	8.8	8.8
EC	32.2	31.3	31.6	32.7	42.6
透明度(m)	0.10	0.85	0.85	0.80	0.50
フィコシアニン(μg/L)	1340	80	8	6	12
クロロフィルa(μg/L)	710	80	35	31	40

● (参考) アオコレベル

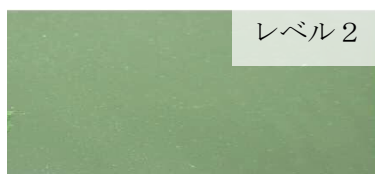
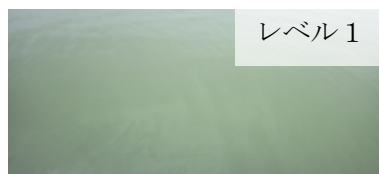


図2 アオコレベル